



週報



所沢西ロータリークラブ

R I 第 2 5 7 0 地 区 第 3 グ ル ー プ

会長 鈴木真澄 ■ 会長エレクト 内田 学
幹事 堀江 大
クラブ管理運営委員長 高橋和男

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1387 回例会 2015・3・17

卓 話	例会当番	記念祝福
3/17 所沢市の「都市マスタープラン」街づくり計画部 都市計画課副主幹 岡村章一様 主査 横山 仁様 主任 大久保卓司様	肥沼正之助	

■出席報告	
月 日	3/10
会員数	36
出席者	27
出席率	75%
前回修正	83.3%

会長の時間 鈴木 真澄

本日は実はは読売新聞社の部長をされておりました林田裕章様にはご多忙のなか、卓話をお引き受けいただき、ありがとうございます。

宜しく願い致します。

今日は私が 19 年間携わってきた、ボランティア活動についてお話をします。

厚生労働省所管の「財団法人」健康・生きがい開発財団の事業の一つで「健康生きがいアドバイザー」という資格があり認定を受けたメンバーで「ときめきらいふクラブ」という団体を創設して 19 年経過し、この 4 月に「ときめきらいふ埼玉」という NOP を立ち上げ認可が下りたところです。

活動目的ですが、少子高齢化社会がますます進展する中で、地域の人々と共に、健康で、生きがいある生活、安心して暮らせる明るいコミュニティーづくりを目指し中高年齢層の健康づくりと自立を支援する。一方、会員相互の自己研鑽、自らの健康、仲間づくりを行い、ボランティア活動への積極的参加を通じ、生きがいある心豊かな健康長寿社会構築の一翼を担う。

主な活動をして所沢市民の高齢者対象に参加者を募集し、会場は市内の公民館で、講師を招いて「毎日続ける運動と食事で健康づくり」「ライフスタイル」についてとか、体験教室では「はじめてのパソコン教室」「絵手紙、フラダンス、デスコン」「ハイギングを企画し、いろいろな場所に案内したり」「企業見学」をしたりという活動をしています。会員の仲間づくりでは、ゴルフ、合宿研修、旅行等で、楽しんでいきます。

一年に一回大きなイベントとして「中高年いきいき講座」というのを企画するのですが、福祉関係で有名な「樋口恵子」さんの時は 250 名位の参加があり、先日の 8 日（日曜）は第一部の講演「健康寿命を延ばすには、笑が一番・元気の源」といテーマで、第二部のアトラクションは「社会人落語」と「津軽三味線」でしたが、新所沢公民館満席の 200 名の参加があり、とても盛大に行うことができ、この会は参加者の喜びを、自分(会員)の喜びとするというのが、目的なので、全員で喜びを分かち合うことができました。

会員は企業を退職し、第二の人生を健康で楽しく、社会貢献したいと願っているメンバーの集まり、32名、会費は年間3000円で全て手弁当という会です。19年経過しますと、所沢市民の皆様、所沢市にもようやく認知して頂き、出前講座などにも、市の職員の方も快く引き受けてくださるようになりました。

そして今回、NPOにもなりました「ときめきらいふ埼玉」をますます活動の幅を広げ、私も高齢者ですが、家に閉じこもっている高齢者の方が参加し、元気になるような企画をすることで、私自身も元気をもらいたいと思っています。

幹事報告

堀江 大

- ◆2015年国際協議会講演集
- ◆ロータリーの行動規範
- ◆2015.6.5 ジャパンナイトパーティーのご案内
- ◆青少年派遣交換学生の「1月分月次報告書」
- ◆2015年地区研修協議会のご案内
4月19日(日) 東洋大学川越キャンパス
点鐘10:00
- ◆覚書(MOU)取り交わしのお願い 4/30 必着
- ◆煌めく18の星 米山記念奨学生 文集⑥
- ◆3月14日(土)開催のI・Mに所沢西RCは参加者があまりにも少ないので、沼崎がバナー補佐様から再度依頼がありました。あらためて多く皆様のご出席をお願い致します。
- ◆例会変更・・・新所沢RC
- ◆週報・・・狭山中央RC、新所沢RC

30周年記念式典委員長

室伏 秀樹

3月27日(金)に、椿山荘ギャラクシールームです。受付開始15時30分。16時より17時30分セレモニー。

第二部 18時より20時30分です。
ご準備をお願いします。

次年度 財団・米山委員会 副委員長

大館 信夫

3月7日(土)の地区財団セミナーに参加して来ました。来年度地区補助金奨学生の決定の報告がありましたが、早川 春菜さん(早稲田大学 スポーツ科学部在学中) 趙迪(中国籍 東京学芸大学 教育学部)の2名だそうです。8名の応募があったそうです。

もっと日本の若者の将来に期待した決定であるべきだと思いました。

ニコニコボックス

師岡 友次

鈴木 真澄 林田様 今日の卓話 宜しくお願致します。

堀江 大 林田様 宜しくお願致します。

室伏 秀樹 自分も20年前は、世界をうろちょろしていましたが、最近は「おっくう」になってしまいました。林田様 卓話 宜しくお願致します。

本橋 正夫 林田様 本日は有難うございます。宜しくお願致します。

大館 信夫 前回 欠席しました。



卓話 <アジア諸国のお国柄>

林田 裕章様



アジアを構成する国々の様子はさまざまです。試みに、フィリピンとベトナムという二つの国を比べてみましょう。

フィリピンというと、私の場合は、底抜けに陽気な国民性と、時折日本人が不審な死を遂げることを思い出します。ベトナムはどうでしょうか。何十年もの間、戦争に次ぐ戦争に苦しんだこの国の現代史を思い出します。

私はベトナムの首都ハノイに読売新聞の特派員として駐在しました。その後、シンガポールとバンコクにも駐在して、その間、フィリピンにも3度か4度、出張で行ったことがあります。ベトナムとフィリピンの間には、政治的に大変な違いがあります。

フィリピンは民主主義の国です。表現の自由、報道の自由が保障されています。昔、マルコスという独裁者がいて、これをアキノさん率いる黄色いシャツのピープルズパワーが打倒した結果、民主主義の国に生まれ変わったのです。マニラで記者会見などに出ると、マスコミの連中と政府の要人が、会見の時間が終わってもまるで友達同士のように冗談を言い合いながらおしゃべりします。ここまでは書いていい、ここから先は書くな、という一応の了解のもと、妥協が成立するのですが、その合意を半ば無視するようにしてフィリピンの文屋は先走って、結構根も葉もないことを書きたてます。

ベトナムは共産党の一党独裁国家です。大学ではいまだにマルクス主義が必須です。新聞には事後の検閲があります。書いてはいけないことは書けません。そもそもどの新聞も、共産党の傘下にある様々な団体の機関紙です。純然たる民間資本の、独立した新聞はありません。記者会見に出ると、ベトナム

の記者は、およそ政府が喜ぶような質問しかしません。我々日本のマスコミが顔を出して、ベトナム政府が困るような質問をすると、ベトナムの記者連中は嫌な顔をします。もっとも、嫌な顔をするのも一種、たてまえのうえでのことで、個人的に仲良くなったやつをわが家へ招いたりすると、とんでもない特ダネを教えてくれ、「ぜひ君の新聞で書いてくれ」と頼まれたりします。



フィリピンとベトナムの政治システムがかくも異なってしまったのは、近現代の両国の歴史のせいです。マルコスは確かに独裁者だったけれども、もともとフィリピンはアメリカの植民地だったので、アメリカ式の自由主義の土壌があったのです。これに対してベトナムは、祖国を守るため、共産主義を採用せざるを得ない時代の流れに巻き込まれてしまった。しかもアメリカが肩入れした南ベトナムは、戦争に負けてしまい、国家全体として共産主義を維持せざるを得なくなったのです。

ハノイに歓楽街はありません。ホーチミンには、ところどころに隠微なネオンが控えめに灯っていますが、観光客は気づきません。マニラの歓楽街は実にあけっぴろげです。照明がぎらぎら輝いています。

東南アジアを観光されるときは、その国の歴史に思いを馳せながら歩くのも一興かと思えます。

今週の担当 須澤 一男